

2013 年 9 月 新製品案内

**K4-2018** ホランド氏 DALK 剪刀、右

**K4-2019** 同、左



深層層状角膜移植手術 (Deep Anterior Lamellar Keratoplasty / DALK) は、若年層の進行性円錐角膜の治療方法として、急速に外科手術の選択肢の一つになりました。カティーナは角膜手術のスペシャリストであるエドワード・ホランド氏と協力し、病変部組織切除の為の新しい剪刀を開発しました。これら(右と左の 2 種)の曲がりの強い剪刀は、事前に切開した角膜周辺部の半径に適応するよう、極小のブレードで出来ています。内刃先端は鈍になっており、水平方向に設置されています。先端は真直切断が保てるようへら状になっており、意図しない穿孔を最小限に抑えます。微細でやや短めの外刃は、術者が適切に内皮壁を整えられるように設計されています。今後 AAO と ESCRS 展示予定で、多くの角膜手術医の注目を集めるでしょう。これらは DALK に欠かせない剪刀です。



**ドネンフェルド氏式 IOL 除去システム**

ソフト IOL の摘出は術中起こりうる手順と言えます。極小切開によって乱視が引き起こされるのを避けたいと望む術者が増加しているからでしょう。ソフト IOL の摘出を行う術者の手助けとして、エリック・ドネンフェルド氏はカティーナと協力して摘出の為の器具セットを開発しました。

**K4-5560** ドネンフェルド氏 マイクロ IOL カッター



この極小剪刀はあらゆるソフト IOL を、最少 1.5mm 長の切開部より切断するために設計されました。強化ステンレスで出来たブレードは 4mm 長で、IOL を把持しやすいように刻み目が入っており、切断中にレンズが滑り難いようになっています。様々な方向からの流水や乾燥が容易かつ完全に行えるよう、筒部に 18 ゲージの孔を 3 つ作りました。



### K5-7570 ドネンフェルド氏 マイクロ IOL ホルダー



これは前述のドネンフェルド氏 IOL カッターに適応した鑷子です。21 ゲージの先端は 1mm の穿孔創からの使用が可能です。パドル状の先端は丸みがあり、先端中央のガイドホールによって可視しやすく、かつレンズを引き出しやすくします。IOL を切断し、最初の創口を通じて安全にレンズ片を摘出できます。このホルダーもまた、効果的な洗浄と乾燥のために 3 か所の孔を設けています。



### K5-5092 ジアネッティ氏 MICS 前囊破除鑷子, 平ハンドル

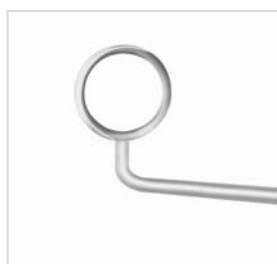


広くご愛用いただいているジアネッティ氏式前囊破除鑷子の、平ハンドル型、1.5mm 切開口用狭開型をご案内します。

極薄い先端部は閉塞時は約 1mm、解放時でも最大 1.75mm 幅です。非常に小さく繊細な先端部は前囊破除の際に囊を把持する時と同様、最初の開口作成に使用できます。創口を広げることなくアクセスできるよう、先端部は角度のついたアーチ状になっています。

### K3-1103 シェパード氏 後囊研磨用鋭匙, 左

### K3-1104 同, 右



白内障手術で最善の結果を得るためには、囊からすべての細胞物質や残留組織を除去することが非常に大切です。この 2 種類の鋭匙（ポリッシャー）はシェパード氏後囊研磨用鋭匙(K3-1102)と同じですが、先端部は 90 度に設置されています。これらの鋭匙の先端は薄型の 2mm 輪状で、表面はベベル状になっています。少し鋭になっている縁は前房と後房の研磨に使用します。輪状のデザインは、囊内表面をより大きくとらえることができ、意図しないラプチャーを減らします。



**K3-2352** コッホ・永原氏 カラテチョッパー、ダブルエンド 右利き用

**K3-2353** 同 左利き用



この器具は永原氏フェイコチョッパー（K3-2329）を一部改良したものと、コッホ氏水晶体核スパーテル（K3-2354）を組み合わせたものです。チョッパーはサイドポートから水平方向に核分割できるよう 1mm長の切断用くさび型 になっています。円錐状の先端は 0.5mm長で、

固い核を垂直方向から破砕するのに理想的です。反対側はゆるやかにカーブし、嚢内で安全に使用できるよう丸みを帯び滑らかに表面加工したコッホ氏核スパーテルです。このスパーテルはまた後嚢を保護しながら核組織をフェイコプローブの方へ寄せるのに理想的です。



**K7-5242** ダーハン氏皮質吸引カニューーラ,砂吹き状, 22 ゲージ,



アニス氏カニューーラは水晶体超音波乳化吸引の際の残留皮質の除去に長年に渡り愛用されています。0.4mm の吸引ポート、細かく砂地加工された先端とまっすぐなシャフトで術者に嚢内での可動性を与えます。エリー・ダーハン氏はこのデザインを推奨しましたが、流量を改善するために 22 ゲージという薄い厚みのものをリクエストしました。ダーハン氏の手術を見た術者の何人かもまたこのデザインを希望する人が多く、カティーナ製品に加わりました。

## バイマニユアル I/A カニューラ

白内障手術における残留皮質除去の為のバイマニユアル方式は一般的になり増加し続けています。この傾向はプレミアム IOL や極小切開術の出現によることが大きいでしょう。最良の視力を長期に渡り維持する為には、なによりも嚢内をきれいにし、まったく残留組織が無い状況にすることがより大事です。カティーナはこの目的のためのあらゆる範囲をカバーし、いくつかの切開創閉塞に適したオーバルチップを搭載した新たなハンドピースを昨年発表しました。以下のカニューラは同様のオーバルチップで、術者の任意のハンドルで使用いただけます。

### **K7-5097 灌流カニューラ, オーバル, 22 ゲージ, 0.4mm 2 サイドポート**



### **K7-5237 シムコ市吸引カニューラ, オーバル, 22 ゲージ, 0.3mm ポート**



### **K7-5238 シムコ氏吸引カニューラ, オーバル, 22 ゲージ, 0.3mm ポート, 砂吹き状**

